

科目名：臨床実習Ⅲ-1<総合実習> (Clinical training Ⅲ-1) 履修年次/時期：3年次 前期 授業形態：実習 担当教員：中向井政子、小堀陽子、角田 晃、山内雅人、戸田真司、劉彦君 (全員実務経験有)		必	1単位 (45時間)
学修目的	歯科衛生士業務を実践するために、1、2年次で修得した知識・技術をもとに歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。 CP(3・4・5・6) 科目 No.S3C13H08		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. ホワイトニングにおける歯科衛生士の役割を理解する。 2. 歯面清掃器を操作できる。 3. ホームケアにおけるフッ化物応用を選択し、指導できる。 4. 歯科医師からの指示内容を理解し、実践できる。 5. 対象者に応じたコミュニケーションがとれる。 6. 医療安全管理に配慮した行動ができる。 7. 歯科衛生に必要なスクリーニングと検査ができる。 8. 資料やデータから歯科衛生士業務の内容を判断し、行動できる。 9. 対象者に応じた口腔保健管理指導ができる。 10. 予防的歯石除去の実践ができる。 11. 業務記録を記載できる。		
授業概要	歯科衛生士業務を適切に実践する能力を養うために、臨床の場で行われている各種技術と理論とともに学び、実践する。 実践の場で活用できる基礎の理論を学び知識を深める。 臨床の場で歯科衛生士 3 大業務 (歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助) を学ぶ。 I 学内における座学および演習 II 神奈川歯科大学附属病院 3F 先進歯科における実習 III 行動目標にそって学びを深め実践できるようになる		
授業計画	1. 学内における実習 (各実習室、各教室)		

	<p>① 実習オリエンテーション</p> <p>② ホワイトニング</p> <p>③ 歯面清掃・歯面清掃器（エアポリッシャー）</p> <p>④ フッ化物配合歯磨剤・洗口剤</p> <p>⑤ 歯石除去（予防的歯石除去・歯科診療補助としての歯石除去を含む）・歯面研磨</p> <p>⑥ 口腔保健管理指導</p> <p>⑦ 業務記録</p> <p>⑧ 特別講義</p> <p>2. 神奈川歯科大学附属病院における実習（3F 先進歯科）</p> <p>①患者実習（予防的歯石除去・歯面研磨・保健管理指導）を行なう。</p> <p>②業務記録の記載</p>
評価方法	<p>本試験 50%、臨床実習評価 50%（実習への参加度、提出物など）</p> <p>試験に対するフィードバックは掲示で行う。</p> <p>実習に対するフィードバックは随時個別に行う。</p>
教科書	<p>専門科目・基礎科目テキスト</p>
参考書	<p>専門科目・基礎科目テキスト</p>
問い合わせ 連絡先	<p>中向井 月～金 16:30～17:00 3号館2階研究室 nakamukai@kdu.ac.jp</p> <p>小堀 月～金 16:30～17:00 3号館2階教員研究室 kobori@kdu.ac.jp</p> <p>山内 月～金 12:10～12:50、17:10～17:30 4号館 2 階研究室 yamauchi@kdu.ac.jp</p> <p>角田 月～金 16:30～17:00 4号館 2 階研究室 tsunoda@kdu.ac.jp</p> <p>戸田 月～金 12:10～13:00、16:30～17:00 4 号館 2 階研究室 toda.s@kdu.ac.jp</p> <p>劉 月～金 16:30～17:00 3号館2階研究室 ryu@kdu.ac.jp</p> <p>*各教員ともに、不在時はメールにて連絡をください。</p>